

課題についての追加情報

○自由課題

【照会事項】自由課題の配管・配線工事で、90 度以上の曲げを行った場合、曲げ箇所数を「2」と数えることになるのか。

【追加回答】90 度以上であっても曲げ箇所数を「1」と数えます。曲げと曲げとの間に、明らかな直線部分が認められれば、合わせて「2」と数えることとします。

【照会事項】自由課題で貼り付ける A4 サイズの障害物（アピールポイントを記入するもの）は競技当日も配布してもらえないか（当日変更等にもなって、自由課題を変更する可能性があるため）。

【回答】希望者には競技当日にも配布いたします。

【照会事項】自由課題において配管・配線に交差がある場合、飛び越しのための曲げは、「曲げ 7 箇所以上」にあたるか。

【回答】曲げ回数にカウントされます。

○小型 P L C 制御盤

【照会事項】アウトレットボックス（H）から小型 P L C 制御盤にいたる 2 本の P F 管に対して、どちらの電線管にどの電線を通すかの指定はあるか。

【回答】別紙 8 には指定する記載がありますが、指定しないこととします。

○材料

【その他】各作業板に設備された 100V 用コンセントから電源供給用コンセント（100V 用）までの電源コード（平形ビニルコード（2 心，4m）の両端にプラグ（2P）を接続したもの）を持参してください。

○採点方法

【照会事項】CVV ケーブルの 90 度曲げの曲線部分の途中をサドルで固定してもよいか。

【回答】固定すること自体は減点対象になりません。ただし、CVV ケーブルの浮きや曲げ半径の確認のために、そのサドルを取り外す場合があります。また、体裁採点において影響がある可能性があります。このことは CVV ケーブルに限らず、VVF ケーブルおよび配管においても同様です。

（以上）